

## 10 月度理事会議事録 (2021 年 10 月 12 日 (火) 開催)

(新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大のため、10 月度理事会はビデオ会議システムにて開催した)

### 1. 会長報告 (9 月 14 日 (火) ~10 月 11 日 (月) 出席案件)

- ・9 月 14 日 (火) 日本人会・理事会 (ビデオ会議システム)
- ・9 月 27 日 (月) 佐渡島・伊藤名誉会員 表彰
- ・10 月 1 日 (金) スタート~10 月 3 日 (日) ゴール バーチャルファンラン/チーム梨田
- ・10 月 8 日 (金) 日本人会・企画推進部会・三役会 (ビデオ会議システム)
- ・10 月 11 日 (月) White Canvas 入賞者選考会

### 2. 一般報告

#### (1) 9 月度個人会員動向

入会者 44 名 退会 183 名 現会員数 4,942 名 (内、準会員 52 名 会友会員 209 名)  
(前年同月 5,875 名・前年同月比 84%)

#### (2) 9 月度賛助会員

〈退会 2 社〉

- ・Tokai Dyeing Co., (Thailand)Ltd.
- ・A. P Honda Co., Ltd

現会員数 531 社 (前年同月 573 社・前年同月比 92.6%)

#### (3) 会員優待店

##### 【店舗閉鎖による脱退】

- ・SalaDee
- ・Wattmann

・現在の有効店数 43 店舗

※休業されているレストランも多いことから事務局にて精査しているところである。

#### (4) 9 月度会館来訪者数

本館：11 名 (実数 11 名)

別館：84 名 (実数 36 名)

合計：95 名 (実数 47 名)

(前年同月 2,687 名 (実数 1,085 名) 前年同月比 3.5% (4.3%))

##### 【昨年の開館状況】

・2020 年 3 月 24 日 (火) より全ての会合、図書館利用、部会同好会活動などの会議室利用を中止。  
3 月 28 日 (土) ~4 月 30 日 (木) まで、日本人会食堂「The Japan」の完全休業。3 月 31 日 (火) より、夜間外出禁止令発令のため事務局の時短運営 (9 時~15 時・土曜日休館)。4 月 16 日 (木) ~5 月 6 日 (水) まで、別館を閉鎖、5 月 7 日 (木) より別館再開。

#### (5) 会館貸出サービス

・9 月は本館・別館ともに予約なし。

10 月は 10 月 30 日 (土) に本館にて土浦日本大学高等学校の入試を行う予定である。

#### (6) 会館利用について

- ・10 月 1 日 (金) より本館・別館ともに一般図書館を再開し、土曜の窓口業務も通常通りとした。
- ・ただし、安全管理のためロビーでの 30 分を超える滞在や館内飲食は引き続きご遠慮いただく。

#### (7) 寄付・寄贈報告

- ・熊本奈々子様より、会館クラブ基金に 10,000B ご寄付頂いた。
- ・本の寄贈  
JETRO 資料室閉鎖に伴い、19 冊の書籍を寄贈頂いた。  
上西秀治様、その他 1 名より計 28 冊寄贈頂いた。

#### (8) 9 月度会計報告

- ・9 月度収入は、78 万バーツ、(前年同月 311 万バーツ 前年同月比 25.1%)
- ・9 月度支出は、156 万バーツ、(前年同月 176 万バーツ 前年同月比 88.4%)
- ・単月収支は、-78 万バーツ (前年同月 134 万バーツ 差額 212 万バーツ)
- ・累計収支は、-184 万バーツ (前年同月 109 万バーツ 差額 -293 万バーツ)

#### (9) その他報告 (事務局)

- ・10 月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

### 3. タイ国日本人会共催/後援名義・ロゴ使用申請 (事務局)

対象事業名：異文化コミュニケーションセミナー

- ・開催日：11 月 19 日 (金)
- ・主催：HRI(Thailand)Co.,Ltd.
- ・要請事項：会員への告知・集客、当日の運営サポート  
→異議なく承認された

### 4. 会友会員申請

・例年、敬老祝賀会終了後、対象者の会友会員への移行について、理事会の承認をお願いしている。理事会承認後、10 月以降の会費が免除される。(2021 年度はコロナ禍のため、祝賀会は開催せず、記念品のみお渡しした)

・今年の会友会員対象は 16 名。日本人会会友会員資格基準「5 年以上普通会員であり、かつ満 75 歳以上」の条件を満たす方。理事会承認で会友会員になり、会費が免除となるが、被選挙権を失うことになる。

→異議なく承認された

尚、現在の会友会員は 209 名、今回の 16 名が会友会員に移行すると、225 名となる。2021 年の定期総会にて、2023 年度以降は、会友会員資格基準を「15 年以上普通会員であり、かつ満 85 歳以上」の条件を満たす方へ変更することが決定している。

### 5. 情報共有

#### (1) 2021 年度収支見込みについて

・例年、入会者・退会者ともに 2000 名程度であったものが、2020 年度は入会者 1,164 名、退会者 2,017 名と退会者数が入会者数を 850 名上回り、2020 年度の平均会員数は 5,881 名 (有料会員 5,659 名) となった。(2019 年度平均 6,668 名に対して、787 名の減少)

・また、例年上期は入会者が退会者を上回り会員数が回復する傾向にあるが、2020 年、2021 年は退会者が入会者に比べ、500 名以上上回っており会員減に拍車がかかっている状態である。

・下期の外部環境としては、11 月から会館の利用が可能、12 月からは日本人学校の平常化、開国を受けある程度、人の移動がしやすくなり、第三回の英検も実施可能との前提のもと予測を立てた。但し、下期の会員数については、例年の傾向通り退会者が入会者を上回ることにした。その結果、2021 年度の会員数は、入会者 1,194 名、退会者 2,130 名、平均会員数は 4,974 名 (有料会員数 4,756 名) 前年比 - 903 名の見込となった。

- ・結果、2021年度の収入見込みは2,129万バーツ（前年実績比90.4%/前年比-226万バーツ）となった。
- ・一方、支出については、各部、管理可能費用を2020年度実績並みに抑制したとして、2,446万バーツ（前年実績比106%/前年比139万バーツ）の見込となった。
- ・以上の結果、収支差は、-280万バーツの赤字となり、基本予算の-240万バーツからさらに、40万バーツの赤字幅が拡大する見込みとなった。各部においては、引き続き費用の削減を行って頂くと同時に、一時退会している個人会員、賛助会員の再入会に結び付く施策や、会費外収入の拡大を検討していきたい。

## （2）日本政府プロジェクト/バーチャルラン

- ・合計43社からの協賛が寄せられ、そのうち現金寄付は43,000Bとなった。
- ・9月20日（月）に申込者が定員の1,000名に達したため、受付を締め切った。  
 アユタヤコース 495名：団体70チーム/260名 個人235名  
 プーケットコース 505名：家族92チーム/281名 個人224名

## 【10月4日（月）時点での本登録状況】

アユタヤコース 309名 56チーム  
 プーケットコース 197名 55チーム

- ・バーチャルランイベントに合わせ、SNS・クルンテープ誌への投稿企画を行う。SNS賞は「#日本人会バーチャルラン」をつけて投稿した人の中から抽選で賞品を贈る。会報誌クルンテープ2022年1-3月号表紙写真コンテストに加え、バーチャルラン参加中のエピソードを募り、抽選で賞品を贈る。
- ・9月22日号・29日号の無料情報誌WiSE誌面広告を紹介した。

## 6. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

### （1）事業部（日高理事/日高洋行）

- ・9月23日（木）に予定していた日本人納骨堂秋季法要は中止としたが、内堀堂守にて、彼岸法要を実施して頂いた。
- ・内堀堂守の9月の活動を報告。  
 ワットリアップの活動に3回参加、納骨堂堂守としての供養を4回実施頂いた。

### （2）青少年部（日高理事/日高洋行）

- ・9月は、剣道・ブラスバンドがオンラインで活動。演劇サークルは公園で立ち稽古、バレーボールサークルはWells International Schoolにて練習を再開した。
- ・10月は、施設の開放状況に応じて順次活動再開予定である。

### （3）婦人部（竹井理事）

- ・9月28日（火）オンラインにて、「タイの調味料について」を開催した。講師は、野菜ソムリエとして活躍する青澤直子氏。参加者は171名、アンケート回答者65名のうち、9割以上が満足と回答した。
- ・10月26日（火）オンラインにて「『陛下の映画』が映した日本」を行う。講師は京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科の櫻田智恵氏。

### （4）広報部（富永理事）

- ・無料情報誌については、ダコ、ニコラボ、ワム、パノーラ、の4誌に掲載する広告を紹介した。なお、ダコは10月号以降本誌休刊、ウェブ記事のみとなることが決定している。
- ・9月のホームページアクセス状況は、訪問数14,498、閲覧数27,723で、LINE配信した日に多く関

覧された。前年同月比は、訪問数 150.4%、閲覧数 98.7%。前月比は、訪問数 120.1%、閲覧数 108.9%であった。タイからの訪問数は 71.1%、日本からは 24.2%。前月と比較し、タイからは 25%、日本からは 30%増加している。

- ・LINE は 14 回の配信、登録者は前月より 53 名増加し、5,840 名（有効者数 3,960 名）
- ・Facebook は 63 回の投稿、登録者は前月より 152 名増加し 2,848 名。バーチャルファンラン参加予約手順を案内する投稿がリーチ数最多となった。タイ人向け日本語教室開講について、9 月 16 日～9 月 23 日の 7 日間、有料広告を掲載したところ、リーチ数 62,878 という高い効果が得られた。
- ・インスタグラムは 14 回の投稿、登録者は前月より 44 名増加し、1,205 名。青澤直子氏による婦人部イベントのお知らせがリーチ数最多となった。
- ・日本人会の公式 Twitter アカウントを開設したことを報告した。10 月 8 日（金）に開設し、10 月 11 日（月）にはフォロワーが 740 名となっている。

#### （5）企画推進部（富永理事）

- ・クルンテープ 10 月～12 月号の誌面を紹介した。
- ・クルンテープ 2022 年 1 月～3 月号で特集する内容を紹介した。表紙写真コンテストとして、バーチャルファンランの様子を参加者から募集する。また、バーチャルファンランをどのように楽しんでいるかのエピソードも募集し、抽選で賞品を提供する。
- ・9 月 11 日（土）・15 日（水）、日本政府支援イベントとしてコロナ禍におけるセルフマネジメントスキルワークショップをオンラインで開催した。講師は Asian Identity Co.,Ltd. CEO&Founder の中村勝裕氏。心理テストを用いた自分や周りの方の対人関係スキルの分析など、仕事や家庭における人間関係向上に役立つスキルについてお話しいただいた。両日ともに参加者の 9 割以上が満足したと回答した。
- ・9 月 16 日（木）、コロナ禍における初めてのタイ駐在講座を開催した。講師は、日タイ・ロングステイ&ビジネス・ネットワーク代表の山下雅史氏。第 2 回目となる今回はビジネスに特化した内容となり、タイ駐在における駐在員の課題や対応策、タイ人スタッフとのコミュニケーションやマネジメントの極意についてお話しいただいた。
- ・10 月 19 日（火）、日本政府支援イベントとしてバムルンラードインターナショナル病院との共催でコロナ禍における Women's Health をオンラインで開催する。
- ・10 月 28 日（木）、JICA との共催第 5 弾として『タイ農村の経済活動支援』をオンラインで開催する。

#### （6）食堂運営委員会（石井理事）

- ・食堂売上 9 月は、418,050B（前年対比 43.8%）であった。タイ人顧客は 1,203 名、邦人顧客は 278 名、総顧客数 1,481 名、会員利用者延べ人数は 44 名、実数 16 名であった。

#### （7）在タイ日本大使館（松前領事部長）

- ・10 月 20 日（水）～25 日（月）の 6 日間、衆議院議員総選挙の在外公館投票を行う予定である。

#### （8）バンコク日本人学校（谷口校長）

- ・10 月 8 日（金）に進路啓発講演会を開催し、梨田大使を始め 3 名の方から有意義なお話をいただいた。引き続き、学校再開へ向けた準備を進めている。

#### （9）運動部（事務局）

- ・25 名未満での集団活動が可能になったことを受け、ソフトボール大会開催の可否を問うため、昨年利用したアーミーグラウンドとラチャウィニット校にグラウンド利用に確認を行った。アーミーグラウンドは修理のため使用不可だが、ラチャウィニット校は学校の再開次第で利用可能

となるため、試合形式を変更してソフトボール大会開催を検討していく。

(10) 事務局報告

- ・10月1日より開講した、タイ人向け日本語教室の様子を報告した。目標集客数を2名上回る17名で開講し、収益は13,795バーツと目標収支142.9%を達成した。
- ・11月企画推進会議・三役会、理事会の日時を確認した。

(11) 情報共有（日時本理事）

- ・日本入国の総量規制により、年末年始の日本行き航空券は予約が取り難い状況となることが予想される。帰任、帰国予定の方は早めに予約をお願いしたい。また、総量規制に対しては、JCCから文書を発行して大使館へ申し入れ、本国へ働きかけてもらうように動いている。

7. 9月度理事会議事録承認

→異議なく承認された

8. 理事会出席者（敬称略、順不同）

・島田会長、荻原、日時本、田中、福田、加藤（三井物産）、各副会長、加藤（トヨタ）、堀尾、太田、小田原、日高（丸紅）、吉田、桐生、土田、竹井、日高（日高洋行）、富永、重松、金子、石井各理事、朽木、大竹各監事、松前大使館代表、谷口日本人学校校長、森田 JICA（国際協力機構）所長、石川 JETRO（日本貿易振興機構）代表、西岡タイ情報誌制作代表、事務局（村上・松田・安達）